

1 目的

災害医療、災害看護に関する基礎的知識と技術を身につける。また、グローバルヘルスの課題を学び、国際的な視点で看護を捉えることができる能力を養う。

2 目標

- 1) 災害看護の特殊性と災害発生時の対応について理解する。
- 2) 災害サイクル各期に必要な災害看護の基礎的知識・技術を習得する。
- 3) 諸外国における保健・医療・福祉の課題を理解する。
- 4) 国際協力のしくみを理解し、国際看護の必要性について考える。

3 単位数・時間数・時期

1単位・30時間 3年次

4 授業計画

回	学習内容	授業形態
1	災害医療の実際 災害の種類と健康被害、災害医療の特徴と DMAT の活動の実際	講義 (医師)
2	災害とは何か：災害看護の定義・種類 徳島の災害、災害対策 災害看護の展開①もし、学校が避難所になったら	講義・GW
3	災害看護の基礎知識 災害看護と法律、災害に関する制度、情報伝達	講義
4	災害看護の展開②その時 看護師は何ができる 災害による被害と疾患の特徴・災害サイクル各期の看護ケア	講義
5	災害看護の展開③被災者のこころのケア	講義
6	被災者特性に応じた災害看護 災害時の要配慮者対策・障害種別の特性に応じた防災対策	講義
7	災害看護に必要な技術	講義
8	災害看護に必要な技術 (一次救命処置、包帯法、搬送法等)	演習
9		
10		
11	災害訓練の実際 (病院での災害訓練に参加)	訓練
12		
13	国際協力機関での活動をとおしての看護活動 文化を考慮した看護について考える	部外講師
14		
15	科目最終試験	筆記試験

5 評価

授業態度、課題等提出物、科目最終試験で総合的に評価する。

6 留意事項

- 1) 主体的に学ぶ姿勢で、授業に参加する。
- 2) 演習・訓練時には指定のあった服装および準備をして臨む。

7 テキスト

- 1) 系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学 第5版 医学書院

1 目的

成人に生じやすい健康問題を学習することで、成人の全体像をつかむ。また成人の看護を行う上で有用な概念や理念を学習し、成人期における健康課題達成に向けた看護の役割について理解する。

2. 目標

- 1) 成人期にある対象の特徴と健康問題を学び、成人の全体像を学ぶ。
- 2) 成人期にある対象の健康の保持増進の重要性を理解できる。
- 3) 成人の看護を行う上で有用な概念や理念を学習し、成人期における健康課題達成に向けた看護の役割について理解する。

3 単位数・時間数・時期

1 単位・30 時間 1 年次

4 授業計画

回	学習内容	授業形態
1	成人期にある人とは	講義
2	成人の特徴と発達課題	講義・演習
3	社会状況の変化と成人の生活	講義・演習
4	生活習慣に関連する健康障害	講義・演習
5	職業に関連する健康障害 ストレスに関する健康障害	講義・演習
6	成人の学習の特徴と看護 ・アンドラゴジーモデル・エンパワーメントモデル ・生活習慣改善への集団指導	講義・演習
7		
8		
9		
10		
11	行動変容・症状マネジメント	講義・演習
12		
13	成人看護に有用な概念 ヘルスプロモーション・危機・病みの軌跡・セルフマネジメント・自己効力感	講義・演習
14		
15	科目最終試験	筆記試験

5 評価

演習への取り組み、課題等提出物、科目最終試験で総合的に評価する。

6 留意事項

- 1) 主体的に学ぶ姿勢で、授業に参加する。
- 2) 演習では積極的に意見交換する。

7 テキスト

- 1) 系統看護学講座 成人看護学 [1] 成人看護学総論 (医学書院)
- 2) 国民衛生の動向 (厚生統計協会)

1 目的

妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における健康増進のための具体的な看護の方法を知り、看護技術の基本を身につける。

2 目標

- 1) 自然の営みとしての妊娠・出産を知る。
- 2) 妊婦・産婦・褥婦および、新生児のケアの基本を理解する。
- 3) 妊婦・産婦・褥婦および、新生児の基本的なケア技術が習得できる。

3 単位数・時間数・時期

1 単位・30時間 2年次

4 授業計画

回	学習内容	授業形態
1	妊娠初期におけるケア	講義
2	妊娠中期におけるケア	講義
3	妊娠中期におけるケア	講義
4	妊娠後期におけるケア	講義
5	事例を考える (妊娠期)	講義・演習
6	分娩期のケア①生理的現象	講義
7	分娩期のケア②産婦の心理	講義
8	事例を考える (分娩期)	講義・演習
9	褥婦のケア①生理的現象	講義
10	褥婦のケア②褥婦に必要な育児技術	講義
11	新生児のケア①生理的現象	講義
12	新生児のケア②育児技術と成長発達	講義
13	沐浴, レポート触診法	校内演習
14	腹囲・子宮底の計測	
15	科目最終試験	筆記試験

5 評価

授業参加態度及びレポート、沐浴演習参加態度、筆記試験

6 留意事項

- 1) 主体的に学ぶ姿勢で、授業に参加すること。
- 2) 常に臨床の場面をイメージしながら主体的に課題学習に取り組むこと。

7 テキスト

- 1) 系統看護学講座 母性看護学 [2] 母性看護学各論 (医学書院)
- 2) カラー写真で学ぶ新生児の観察と看護技術 (医歯薬出版)
- 3) 写真でわかる母性看護技術 アドバンス (インターゲイ)

1 目的

地域・在宅で療養する家族の健康課題によって生じるニーズを支援するための、基礎的知識及び家族看護の役割を理解する。

2 目標

- 1) 地域・在宅で暮らす家族のニーズの特徴を理解する。
- 2) 家族のニーズをアセスメントする上で、必要な基本的な知識について理解する。
- 3) 家族の健康課題によって生じるニーズについてのアセスメントの実際をとおして、家族看護の重要性を理解する。

3 単位数・時間数・時期

1単位・15時間 2年次

4 授業計画

回	学習内容	授業形態
1	ケアチームにおける多職種連携	講義 (医療ソーシャルワーカー)
2	家族看護の目的と対象者 社会の変化と地域における家族看護のニーズ	講義
3	家族アセスメントに有用な理論とアセスメントモデル① (ICF)	講義 グループワーク
4	家族アセスメントに有用な理論とアセスメントモデル① (家族アセスメント理論、家族アセスメントモデル)	講義 グループワーク
5	家族関係、家族と家族外関係を把握する方法 (ジェノグラムとエコマップ)	講義 グループワーク
6	家族看護の特徴と実際①事例検討	グループワーク
7	家族看護の特徴と実際②事例検討	グループワーク
8	科目最終試験	筆記試験

5 評価

授業態度、課題等提出物、科目最終試験で総合的に評価する。

6 留意事項

- 1) 主体的に学ぶ姿勢で、授業に参加する。
- 2) 演習時には指定のあった服装および準備をして臨む。

7 テキスト

- 1) 系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 医学書院
- 2) 系統看護学講座 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践 医学書院
- 3) 系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院

看護学概論

水田 克子

1 目的

看護師としての倫理的な判断をするための基本的能力を養いつつ、地域で暮らす人・人間のライフサイクルにおける健康の意義、保健・医療・福祉における看護師の機能・役割を学ぶ。

2 目標

- 1) 看護の概念を理解する。
- 2) 看護の歴史の変遷を把握し、現在の看護の諸問題を考えることができる。
- 3) 保健医療福祉チームと看護チームの機能と役割を理解する。
- 4) 看護における倫理について考え、自分の意見を述べるができる。

3 単位数・時間数・時期 1単位・30時間 1年次前期

4 授業計画

回	学習内容	授業形態
1	看護への誘い フローレンス・ナイチンゲール	講義
2	看護の概念 看護の成り立ち	講義
3	看護の概念 看護の定義	講義
4	看護の対象 ころとからだ 成長・発達	講義
5	看護の対象 成長・発達	講義
6	看護の対象 「暮らし」を理解する	講義
7	看護の対象 看護の対象	講義
8	看護の提供者 職業としての看護 養成制度と就業状況	講義
9	看護の提供者 教育とキャリア開発	講義
10	看護の提供のしくみ サービスとサービス提供の場	講義
11	看護の提供のしくみ 看護をめぐる制度と政策	講義
12	職業倫理としての看護倫理	講義
13	看護と倫理 倫理的ジレンマ 「あなたならどうする」	グループワーク
14	看護と倫理 倫理的ジレンマ 「あなたならどうする」	グループワーク・発表
15	科目最終試験	筆記試験

5 評価

授業態度、課題等提出物、科目最終試験で総合的に評価する。

6 留意事項

主体的に学ぶ姿勢で、授業に参加すること。

7 テキスト

- 1) 系統看護学講座 基礎看護学 看護学概論 医学書院
- 2) 系統看護学講座 看護倫理 医学書院

1 目的

精神看護に必要な技術、活用できる理論について理解するとともに、患者-看護師関係を築くために自己への洞察を深め、治療的コミュニケーションの基本的能力を養う。

2 目標

- 1) 患者-看護師関係について学び、治療的関わりの技法について習得できる。
- 2) 精神看護に活用できる看護モデル・看護理論を学ぶ。

3 単位数・時間数・時期

1単位・30時間 2年次

4 授業計画

回	学習内容	授業形態
1	精神の健康について考えたこと①	講義・グループワーク
2	精神の健康について考えたこと②	講義
3	精神看護について (DVD 鑑賞)	映画鑑賞
4		
5	関係のなかの人間 家族システム	講義
6	ストレンクスモデル、リカバリーなど	講義
7	対人関係論 (ペプロウ)	講義
8	患者-看護師関係 (トラベルビー)	講義
9	セルフケア理論 (オレム)	講義
10	発達理論と発達危機 (エリクソン) ①	講義・グループワーク
11	発達理論と発達危機 (エリクソン) ②	グループワーク発表
12	対象関係論 その他の理論	講義
13	精神看護学領域における看護過程①	講義・演習
14	精神看護学領域における看護過程②	講義・演習
15	科目最終試験	筆記試験

5 評価

授業態度、課題の提出状況および科目最終試験を踏まえて総合的に評価する。

6 留意事項

- 1) 主体的に学ぶ姿勢で、授業に参加すること。
- 2) 常に臨床の場面をイメージしながら主体的に課題学習に取り組むこと。

7 テキスト

- 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 (医学書院)

臨床判断演習Ⅱ

下藤 結美

1 目的

臨床判断に必要な「気づく」「解釈する」「反応する」「省察する」力を向上させるために、事例の考察を行い、演習を通して多くの意見を取り入れる。

2 目標

- 1) 事例患者に起きている変化に気づくことができる。
- 2) 情報の意味づけを行い、対応の方向性を考えることができる。
- 3) 対象の反応を観察しながら適切な介入を考えることができる。
- 4) 自己判断、行動を省察し、改善点を見いだすことができる。

3 単位数・時間数・時期

1 単位・15時間 2年次後期

4 授業計画

回	学習内容	授業形態
1	症状から読み取る判断(疾患理解・処方・現在の治療)	講義
2	患者の事象に気づく(緊急性の判断・データ収集と整理)	講義
3	推論仮説・推論検証	講義(GW)
4	問題判断と優先順	講義(GW)
5	ケアを考える(必要なケア、説明)	講義(GW)
6	ケアを実践	演習(GW)
7	ケアの振り返り、報告	講義(GW)
8	科目修了試験	試験

5 評価

科目修了試験、授業態度、提出物などを総合的に判断する。

6 留意事項

- 1) 根拠をもって患者情報を整理するため、疾患、薬剤、検査値を結び付けて事前課題に取り組み、主体的に演習に参加すること。
- 2) 正解ではなく思考過程を重視するため、根拠の判断を説明し、必要な援助を考え実践すること。

7 テキスト

- 1) 臨床推論入門、メディカ出版
- 2) 今日の治療薬 解説と便覧、南江堂
- 3) 検査値早わかりガイド、サイオ出版

成人看護学 成人看護過程の展開

富永 香奈子

1 目的

成人期にある対象への看護過程を展開する能力を養う。

2 目標

- 1) 急性期・慢性期にある患者の看護過程を展開できる。
- 2) 事例の個別性に合わせた計画の立案を行うことができる。
- 3) グループ活動,発表会を通して,看護過程の考え方を学ぶ。

3 単位数・時間数・時期

1 単位・30 時間 2 年次

4 授業計画

回	内 容	授業形態
1	看護過程の基礎知識・事例の理解 (胃がん・心不全)	講義
2	情報収集、情報の意味	講義・グループワーク
3	情報の整理・解釈・仮の診断、情報の分析	講義・グループワーク
4		
5	病態関連図、統合関連図	講義・グループワーク
6		
7	看護問題の抽出 (看護診断)・問題リスト	講義・グループワーク
8	看護計画立案, 実施・評価に向けて準備	講義・グループワーク
9		
10	実施・評価	講義・演習・グループワーク
11		
12	発表会資料の作成	講義・グループワーク
13	看護過程発表会・まとめ	発表会
14		
15	科目最終試験	筆記試験

5 評価

提出物、グループワーク・発表会への取り組み状況、最終筆記試験で総合評価する。

6 留意事項

- 1) 主体的に学ぶ姿勢で、授業に参加する。
- 2) グループワークに積極的に参加する。

7 テキスト

- ①臨地実習学習要項
- ②事例で学ぶ看護過程PART1 (学研)
- ③ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 (ヌーヴェルヒロカワ)
- ④エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図 (中央法規)
- ⑤NANDA-I 看護診断 2024-2026 定義と分類 (医学書院)
- ⑥その他: 関連する e テキスト (成人看護学: 消化器、循環器など)
- ⑦1 年次履修の「看護過程の基礎」授業資料

1 目的

高齢者のおかれた状況及び、高齢社会における制度やシステム、加齢に伴う変化のアセスメント及び、高齢者の状況や家族への支援の在り方を検討できる能力を養う。

2 目標

- 1) 高齢者の保健・医療・福祉政策について理解する。
- 2) 高齢者の生活習慣とセルフケアについて理解する。
- 3) 高齢者の健康保持増進と看護の役割を理解する。
- 4) 高齢者におけるケアマネジメントについて理解する。

3 単位数・時間数・時期

1 単位・15 時間 2 年次

4 授業計画

回	学習内容	授業形態
1	保健医療福祉制度の変遷	講義
2	高齢者医療の仕組み 高齢者を支える職種と活動の多様化	講義
3	高齢者支援の事例①	グループワーク
4	高齢者支援の事例② 高齢者の権利擁護について①	発表 グループワーク
5	高齢者の権利擁護について②	グループワーク 発表 講義
6	在宅高齢者への看護 家族への看護	講義
7	まとめ	講義
8	科目最終試験	

5 評価

授業態度、課題等提出物、科目最終試験で総合的に評価する。

6 テキスト

- 1) 系統看護学講座 老年看護学 (医学書院)
- 2) 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論 (医学書院)